

2020年 ある1ヶ月に妊娠された方々の治療内容です

妊娠時年齢順に記載

※胚盤胞の評価については「体外受精など高度生殖医療について」のページを参照ください

例) 妊娠時年齢 挙児希望 不妊原因

概要

- ・ 22歳 2020- 夫正常形態率低下 2.6%
AMH4.81 当院にて検査終了後自然妊娠成立
- ・ 26歳 2019- 男性因子 OAT 症候群
AMH4.58 AIH1 回後 男性リプロ外来併診 Sテスト所見から ART の方針へ
初回採卵デュファストン法 13 個採卵、スプリット IVF6 個 ICSI7 個、IVF で 2 個受精・
ICSI で 5 個受精それぞれ 1 個ならびに 4 個の胚盤胞を凍結保存。初回胚盤胞融解移植 (4
AD) 周期で妊娠成立
- ・ 26歳 2019- 軽度男性因子 正常形態率 1.8% 前医でタイミング療法
AMH1.47 COSAIH の方針とし 3 回目のクロミフェン AIH で妊娠成立
- ・ 26歳 男性因子 (無精子症)
第 1 子は当院にて TESE 凍結精巣精子を利用し 2017 年に初回採卵 4 個凍結胚。初回移植
にて妊娠成立出産。今回 2 子希望にてやはり初回移植 (自然周期) にて妊娠成立。
- ・ 27歳 2019- 軽度排卵障害 軽度男性因子正常形態率 1.25% 前医タイミング法
AMH7.16 AIH の方針とし 5 回不成功。ART ヘスステップアップ。2 回目のアンタゴニ
スト法採卵 14 個 (スプリット IVF7 個、ICSI7 個) IVF4 個受精、ICSI7 個受精。初期胚 1
個と胚盤胞 1 個 (いずれも ICSI 由来) を凍結、初回 (計 3 回目) のホルモン調節周期移
植で初期胚を胚盤胞培養し 5 CC にて妊娠成立 (胚盤胞 5 CB 凍結保存中)
- ・ 28歳 無精子症のため TESE による ART(ICSI) 前児は当院アンタゴニスト法で採卵
初回凍結融解胚移植にて妊娠成立出産。
このたび、第 2 子希望、初回採卵時に凍結保存した胚を融解し、8 月初回 4 BC 移植で流
産、今回 2 回目 3 BC 移植で妊娠成立
- ・ 29歳 2018- 軽度男性因子 (運動率低下、正常形態率 2.85%) 前医にて AIH5 回
AMH2.50 当院にて COSAIH3 回後 ART の方針。2 回目の AIH (レトロゾール) にて妊
娠成立

- ・ 29 歳 2018- 右卵管閉塞 男性因子
 タイミングにても妊娠ならないため AIH の方針 6 回施行
 その後 ART の方針となる。初回アンタゴニスト法 10 個採卵、8 個 ICSI で 5 個受精。2
 個凍結胚獲得。初回融解周期 5 CD（ホルモン調節）にて妊娠成立
- ・ 29 歳 2019-
 AMH4.77 当院にて諸検査施行中に自然妊娠成立
- ・ 29 歳 2019- 原因不明不妊症 正常形態率 5.7%
 AMH3.34 当院にて COSAIH の適応とし 2 回目レトロゾール AIH で妊娠成立
- ・ 30 歳 2019- 原因不明不妊症 当院来院までタイミング療法
 AMH1.92 AIH 療法とし、1 回目の自然周期 AIH 妊娠成立
- ・ 30 歳 2019- 夫特発性 OAT 当院来院までタイミング療法
 当院男性リプロ外来併診にて漢方療法開始、SO サポート開始。
 AMH3.84 AIH5 周期不成功後、ART の方針 デュファストンによる PPOS 法、初回採
 卵の初回胚盤胞融解移植（ホルモン調節）で妊娠成立
- ・ 30 歳 軽度排卵障害、軽度男性因子 正常形態率 3.05% 前医にてタイミング療法 9 回、
 AIH1 回 AMH4.06 当院にて AIH 初回（レトロゾール周期）にて妊娠成立
- ・ 30 歳 2019- 軽度排卵障害、軽度男性因子
 AMH9.09 当院にて諸検査後、当面自然周期でのタイミング療法の方針とし 3 か月目に
 妊娠成立
- ・ 31 歳 2019- 軽度排卵障害 軽度男性因子 正常形態率 1.65%
 AMH4.35 タイミング療法後、初回クロミフェン AIH 周期で妊娠成立
- ・ 31 歳 2019- 原因不明不妊症 当院来院まで前医でタイミング療法 8 周期
 AMH9.64 AIH 療法とし、1 回目の自然周期 AIH 妊娠成立
- ・ 31 歳 2019- 原因不明不妊症 正常形態率低下 8.55% 喫煙習慣をやめ禁煙を指示。
 前医にてタイミング療法ならびに AIH1 回
 AMH6.57 子宮鏡下内膜ポリープ切除かつ慢性内子宮膜炎治療施行 AIH4 回施行

その後 ART の方針としデュファストン法 12 個採卵 12 個受精、10 個凍結胚。初回融解胚盤胞 5 BA 移植にて妊娠成立（ホルモン調節周期）

- ・ 32 歳 2019- 軽度男性因子 正常形態率 1.05% 当院来院までタイミング療法
AMH0.581 卵巣予備能を危惧し、ART を希望 初回クロミフェン採卵 3 個採卵、2 個 ICSI、1 個受精し胚盤胞凍結 自然周期で 4 AC 融解移植し妊娠成立
- ・ 32 歳 2018- 原因不明不妊症 前医にてタイミング療法 1 年半
AMH1.36 当院にて AIH6 回施行後 ART の方針となる。ショート法にて 12 個採卵、12 個 IVF で受精、6 個凍結保存。3 回目の融解胚盤胞 4 CB（ホルモン調節周期）にて妊娠成立。
- ・ 32 歳 2015- 夫 OAT 症候群
AMH4.43 夫は当院男性リプロ外来受診 SO サポート(サプリメント)使用
AIH6 回施行（3 回目で妊娠するも初期流産）後 ART の方針。アンタゴニスト周期で採卵 10 個、スプリット（IVF5 個、ICSI5 個）の結果 ICSI で 2 個受精、IVF では受精なし。2 個凍結胚獲得。初回凍結融解胚盤胞 5 BD 移植にて妊娠成立。
- ・ 32 歳 2017- 内膜ポリープ 慢性子宮内膜炎 軽度男性因子
AMH4.03 当院にて初回 AIH で妊娠されるも初期流産。その後子宮鏡下内膜ポリープ切除および病理検査にて慢性内膜炎所見があり除菌（ビブラマイシン→シプロキササンとフラジール併用）その後 AIH3 回目で妊娠成立
- ・ 33 歳 2013- 前医にて原因不明不妊症診断 当院来院まで AIH7 回
AMH2.05 当院にて ART の方針とし、5 回目の採卵、9 回目の胚移植にて妊娠成立
経過中に、慢性内膜炎（CE）の診断で除菌 3 コース施行。胚移植での流産歴 1 回あるため ERA 検査はおこなわず EMMA/ALICE 検査は希望されずおこなわず、基本的には反復着床障害検査は施行せず。妊娠周期はレトロゾール HMG アンタゴニスト法で 6 個採卵、IVF2 個受精、初期胚 1 個凍結。自然周期での初期胚融解移植だが CE 合併のため黄体ホルモン不応がある可能性を鑑み、黄体ホルモン膣錠を併用しての妊娠成立
- ・ 33 歳 2019- 原因不明不妊症
AMH3.22 不妊検査中の自然妊娠成立
- ・ 33 歳 2012- 原因不明不妊症 正常形態率 3.0% 前医にてタイミング療法、AIH1 回
AMH3.86 当院にて AIH 初回（自然周期）にて妊娠成立

- ・ 33 歳 2018- 子宮内膜症 右卵管水腫 子宮筋腫 夫正常形態率 3.7%
 AMH2.26 先にデュファストン法で採卵 14 個 (IVF と ICSI のスプリットで前者 9 個、
 ICSI4 個受精 凍結胚 8 個獲得。腹腔鏡下右卵管水腫切除+筋腫核出術 またその後急速
 な右卵巢嚢胞増大に対して腹腔鏡下右卵巢嚢胞摘出術施行。初回移植 4 CD (自然周期)
 にて妊娠成立
- ・ 33 歳 2019- 夫正常形態率低下 1.1%
 AMH4.36 AIH の方針とし初回自然周期 AIH で妊娠成立
- ・ 33 歳 原因不明不妊症
 AMH0.777 第 1 子当院にて AIH4 回不成功後 ART 妊娠 第 2 子希望にて 4 回採卵し、
 今回アンタゴニスト法で採卵 2 個 IVF で 1 個受精初めて得られた移植可能胚 (胚盤胞)
 を凍結融解胚盤胞 5 BD 移植にて妊娠成立
- ・ 34 歳 2017- 原因不明不妊症 卵巢嚢腫手術歴あり
 AMH0.018 6 回目の採卵計画周期 (完全自然周期) で初めて採卵 1 個獲得し胚盤胞で凍
 結保存、ホルモン調節周期で融解胚 5 CD を移植し妊娠成立
- ・ 34 歳 2019- 男性因子 OAT 症候群、正常形態率 2.4% 他院にてタイミング療法
 AMH3.54 当院にて AIH3 回後 ART(ICSI) の方針となる。男性リプロ外来も並行して診療
 初回デュファストン法初回採卵 15 個、13 個 ICSI、9 個受精、初期胚 1 個ならびに胚盤胞
 5 個凍結保存。2 回目の凍結融解胚盤胞移植 4 AB にて妊娠成立
- ・ 34 歳 2019- 子宮内膜症 前医にてタイミング療法
 AMH2.04 AIH1 回後、ART の方針アンタゴニスト法で採卵 9 個するも胚質不良のため
 凍結胚を獲得できず。その後腹腔鏡下手術にて腹腔内環境を整備、レトロゾールタイミン
 グ周期初回で妊娠成立
- ・ 34 歳 2019- 原因不明不妊症 夫正常形態率 3.05%
 AMH5.12 諸検査終了後ほどなく自然周期でのタイミングで妊娠成立
- ・ 34 歳 2017- 男性因子 前医にてタイミング療法
 AMH2.86 当院にて AIH4 回施行後 ART の方針。初回採卵デュファストン法では凍結
 胚 1 個のみ。2 回目採卵アンタゴニスト法で凍結胚得られず。3 回目ロング法にて 7 個採
 卵 7 個 ICSI に 6 個受精、3 個凍結保存。2 回目の凍結融解胚盤胞 5 CC 移植にて妊娠成立

- ・ 34 歳 2019- 左卵管閉塞 夫正常形態率 1.65% 前医にてタイミング療法施行
 AMH0.769 AMH 低下所見あり早くに ART の方針とし、アンタゴニスト法で 5 個採卵
 5 個 ICSI 2 個受精 1 個凍結胚獲得するも融解移植で妊娠せず、2 回目採卵であるレトロゾ
 ール周期新鮮初期胚移植で妊娠成立、さらに 2 個の凍結胚盤胞 4 AB、4 BC を得る。
- ・ 34 歳 2019- 原因不明不妊症 正常形態率 5.25%
 AMH1.52 COSAIH の方針として 5 回施行。ART の方針へ
 アンタゴニスト法で 9 個採卵、IVF 8 個受精、4 個凍結胚。2 回目の凍結融解胚盤胞 5 AC
 移植にて妊娠成立。
- ・ 35 歳 2019- 男性因子 当院までの治療なし
 AMH3.53 AIH7 回施行後、ART の方針とし、初回デュファストン (PPOS) 周期 13 個
 採卵、12 個 ICSI、7 個胚盤胞のうち 5 個凍結保存。初回融解胚盤胞移植周期 5 AA での
 妊娠
- ・ 35 歳 2016- 子宮内膜症 (左右卵巣にチョコレート嚢胞) 長らくタイミング法のみ
 で体質改善し自然な妊娠をめざしていた。当院では ART が必要と判断。
 AMH2.14 初回アンタゴニスト法 11 個採卵 6 個受精初期胚 1 個胚盤胞 2 個凍結保存。
 初回融解胚盤胞 (4 CC) 自然周期移植で妊娠成立
- ・ 35 歳 2017- 軽度排卵障害 軽度男性因子 (正常形態率 1.6%)
 AMH6.84 タイミング療法から開始とし、クロミッドタイミング 1 回目で妊娠成立
- ・ 35 歳 2019- 軽度排卵障害 軽度男性因子 (運動率低下、正常形態率 1.85%) 左卵管采
 周囲癒着
 AMH10.51 タイミング療法半年後 AIH の方針へ。レトロゾール周期 AIH1 回目で妊娠
 成立
- ・ 35 歳 2020- 排卵障害 夫正常形態率低下 2.45%
 AMH1.90 当院にて諸検査後、COS タイミング療法とした。初回周期レトロゾール FSH
 周期にて妊娠成立
- ・ 35 歳 2019- 夫 OAT 症候群 多発筋腫 前医にて子宮鏡下筋腫切除手術後再発
 AMH0.567 採卵し凍結胚を貯めてから手術の方針。2 回採卵、ショート法 5 個採卵 4 個
 ICSI で 4 個受精、凍結胚 2 個、デュファストン法 8 個採卵 8 個 ICSI で 7 個受精で 3 個
 凍結胚を獲得。当院にて子宮鏡下筋腫切除手術施行後、初回融解胚盤胞移植 5 DC にて妊

娠成立（ホルモン調節周期）

- ・ 35 歳 2018- PCOS 男性因子 OAT 症候群
男性リプロ外来受診にて ART を推奨。左精索静脈瘤に対して低位結紮術施行。デュファストン法にて 17 個採卵 17 個 ICSI 14 個受精。5 個移植可能胚を凍結、つづいて貯卵を希望されるため再度、アンタゴニスト法で 13 個採卵 11 個 ICSI し 4 個受精、3 個凍結保存。計 8 個凍結胚を得た。初回融解胚盤胞移植にて妊娠成立（ホルモン調節周期）
- ・ 36 歳 2019- 原因不明不妊症 橋本病
AMH2.14 第 1 子は当院 AIH7 回目で妊娠出産
第 2 子希望にて 7 回 AIH 行うも妊娠ならず ART へ
初回採卵アンタゴニスト法 12 個採卵 IVF8 個受精、4 個胚盤胞凍結で、初回胚盤胞融解移植 4 CC で妊娠成立
- ・ 36 歳 2019- 男性因子
AMH4.07 AIH5 回施行後 ART へ
デュファストン法にて 10 個採卵スプリット（IVF5 個、ICSI5 個）ともに 4 個ずつ受精し、7 個胚盤胞凍結。2 回目胚盤胞 5 BB 移植にて妊娠成立
- ・ 37 歳 2020- 排卵障害 軽度男性因子 正常形態率 2.05% 当院までの治療なし
AMH9.93 当院男性リプロ外来受診も並行。前児も当院でレトロゾール FSH 初回 AIH での妊娠。今回レトロゾール初回 AIH にて妊娠成立
- ・ 37 歳 2020- 原因不明不妊症
AMH5.94 不妊検査中の自然妊娠成立
- ・ 37 歳 2015- 子宮内膜症、卵管因子、筋腫核出術後
AMH0.421 ART の方針とし、ジェノゲスト内服 FSH による卵巣刺激による採卵（これまで各種卵巣刺激をおこない今回 10 回目）、4 個採卵 4 個 ICSI 4 個受精、3 個胚盤胞を凍結保存、1 個融解胚盤胞移植（5 CD）妊娠成立。移植での 4 回の化学妊娠を経験しており ERA 検査も施行（receptive つまり着床ウィンドウのずれはなしと判明）不育症検査の結果バイアスピリン併用もおこなった。ラクトフローラ錠併用。
- ・ 37 歳 2018- 左卵管采周囲癒着 夫正常形態率 3.05%
AMH2.07 第 2 子希望にて検査治療開始、その後 3 回初期流産。不育症検査にて抗リン脂質抗体症候群と診断。自然周期での妊娠成立でバイアスピリン/ヘパリン療法併用。

- ・ 37 歳 2016- 卵管因子（両側卵管水腫）軽度排卵障害
 AMH5.12 ART の方針とし先に採卵デュファストン法 9 個採卵、5 個 IVF 受精で 3 個胚盤胞凍結保存。その後腹腔鏡下両側卵管水腫切除。初回融解胚移植 4 AB（ホルモン調節周期）で妊娠成立
- ・ 37 歳 2016- 子宮内膜症 左卵管閉塞 慢性子宮内膜炎治療後
 AMH1.89 当院にて AIH5 回後 ART の方針。
 初回採卵アンタゴニスト法で 1 個のみ凍結胚獲得するも妊娠せず
 2 回目の採卵（デュファストン法）で 9 個採卵、IVF で 5 個受精、3 個凍結胚獲得、初回の凍結融解胚盤胞 5 DC 移植にて妊娠成立
- ・ 38 歳 2019- 原因不明不妊症 1 子は 3 回目の採卵（ロング法）、計 6 回目の移植で妊娠成立出産。2 子希望にて治療開始。AMH0.683 前回採卵での凍結胚 3 回移植後、採卵 2 回目（デュファストン法）の初回凍結融解胚盤胞移植にて妊娠成立
- ・ 38 歳 2019- 軽度排卵障害
 当院にて諸検査後、タイミング療法の方針とし、まもなく自然周期での妊娠成立
- ・ 38 歳 PCOS 排卵障害 男性因子（運動率低下、正常形態率 1.25%）
 AMH6.30 第 1 子は前医にてクロミッドタイミングで妊娠成立。第 2 子希望、前医でクロミッドタイミング、レトロゾールタイミング、クロミッド AIH4 回で妊娠に至らず当院へ当院にてレトロゾール FSH 周期初回、成熟卵胞が 4 個発育のため、卵胞吸引穿刺を 1 個のみ残し施行、ダグラス窩の腹水内へ精子注入（直接腹腔内精子注入法 DIPI）し、単胎妊娠成立
- ・ 39 歳 2018- 原因不明不妊症 潜在性甲状腺機能低下症（チラーヂン内服）
 AMH0.777 子宮内膜ポリープに対して子宮鏡下手術の結果 CE 所見ありビブラマイシン内服。AIH6 回施行後 ART の方針。レトロゾール HMG による卵巣刺激で 10 個採卵、スプリット IVF4 個、ICSI3 個それぞれ受精、初期胚 1 個と胚盤胞 6 個凍結保存。このたび初回の自然周期凍結融解胚盤胞移植 4 BB にて妊娠成立。
- ・ 39 歳 2019- 子宮内膜症
 AMH 1.09 第 1 子は当院にて 2 回目の採卵周期ロング法にて 2 回目の融解移植で妊娠出産 第 2 子希望にて、その後 4 回目の採卵クロミフェン法 1 個採卵、1 個受精、1 個胚盤胞凍結、移植 3 CD（移植は合計 3 回目）にて妊娠成立

- ・ 39 歳 2017- 排卵障害 PCOS
 AMH4.40 当院にてクロミフェンタイミング療法で妊娠するも卵管妊娠となる。その後 AIH4 回施行するも妊娠せず、ART の方針。初回採卵（デュファストン法）24 個、IVF で 18 個受精、初期胚 1 個および胚盤胞 1 個凍結保存。2 回目の移植（4 CC）で妊娠成立
- ・ 39 歳 2019- 原因不明不妊症 前医子宮鏡下ポリープ切除歴 タイミングおよび AIH3 回
 AMH5.37 AIH1 回施行後 ART の方針。デュファストン法 10 個採卵 8 個 ICSI7 個受精、初期胚 1 個と胚盤胞 6 個保存。初回の凍結融解胚初期胚→胚盤胞 5 BC にて妊娠成立
- ・ 39 歳 2018- 原因不明不妊症 正常形態率 5.05%
 AMH4.74 AIH の方針とし 7 回施行（3 回目に妊娠するも初期流産）
 その後 ART の方針としデュファストン法にて 12 個採卵 IVF で 11 個受精、6 個凍結保存。2 回目の凍結融解胚盤胞 5 BA 移植にて妊娠。
- ・ 40 歳 2016- 原因不明不妊症 前医で ART 不成功
 当院にてデュファストン法にて初回採卵し初回胚移植で妊娠成立出産
 このたび出産後の初回融解胚盤胞移植にて妊娠成立
- ・ 40 歳 2017- 男性因子（正常形態率 1.6%）
 AMH0.867 AIH4 回後 ART（ICSI）の方針へ。4 回目の採卵（完全自然）で 2 個採卵、2 個 ICSI, 1 個受精、胚盤胞 1 個凍結。融解移植 5 CD（都合 3 回目の移植）で妊娠成立
- ・ 41 歳 2018- 男性因子 右卵管閉塞 他院にて ART 歴あり 1 回採卵 10 個胚凍結し 7 回に分けて融解移植するも妊娠に至らず、また慢性内膜炎（CE）治療歴あり、当院へ。
 EMMA/ALICE 検査にて異常所見あり抗菌剤内服およびラクトフローラ使用の指示。
 当院にてアンタゴニスト法にて採卵 9 個、IVF4 個と ICSI5 個の splitted、前者で 1 個、後者 5 個受精、凍結胚 5 個獲得。今回は初回凍結融解胚移植 5 CC にて妊娠成立
- ・ 41 歳 2019- 原因不明不妊症 当院来院までタイミング療法
 AMH2.50 AIH5 回不成功後 ART の方針となる 初回アンタゴニスト法 11 個採卵 IVF で 5 個受精、初期胚 1 個および胚盤胞 3 個凍結保存。初回凍結融解胚盤胞ホルモン調節周期で初期胚を融解培養し胚盤胞 5 CD 移植し妊娠成立
- ・ 41 歳 原因不明不妊症 前医でタイミング療法 AIH4 回
 AMH5.36 当院にて ART の方針とし、初回 HMG 採卵 11 個、IVF8 個受精、初期胚 1k

おと胚盤胞 7 個中 3 個凍結保存。3 回目の融解胚盤胞 5 CD 移植にて妊娠成立

- ・ 41 歳 2016- 夫正常形態率 1.55% 前医にてタイミング療法、AIH6 回施行後
AMH1.17 ショート法にて 8 個採卵（スプリット IVF4 個、ICSI4 個）。すべて受精する
も、IVF 由来の 1 個凍結胚盤胞のみ得る。融解移植 5 CC にて妊娠成立（ホルモン調節周
期）
- ・ 42 歳 2014- 原因不明不妊症 複数施設において反復 ART 不成功反復流産既往（10 回
採卵 9 回移植いずれも着床せず）子宮内膜菲薄を指摘されていた。不育症検査歴あり
AMH1.92 当院にてレトロゾール採卵 2 回にて初期胚 1 個と胚盤胞 1 個凍結
PRP（自己多血小板血漿）療法を併用し初期胚移植で化学妊娠。つづいて胚盤胞移植 5 BB
にて妊娠成立
- ・ 42 歳 2012- 原因不明不妊症 肥満症 死産歴 インスリン抵抗性 前医でタイミン
グ療法長期間と AIH5 回
AMH8.44 当院受診後 2 年間かけて内科との連携で -60 kg 減量（食事、運動療法）に成
功。AIH6 回施行。初回デュファストン法にて採卵 10 個、IVF5 個受精、胚盤胞 4 個のう
ち 3 個凍結保存。初回融解胚盤胞 4 CC 移植にて妊娠成立
- ・ 43 歳 2017- 男性因子 当院来院までタイミング療法、AIH7 回
AMH1.15 ART の方針。6 回目の採卵（レトロゾール HMG アンタゴニスト法）6 個採
卵、3 個 ICSI 施行し 3 個受精 初期胚凍結 1 個、胚盤胞凍結 1 個。初期胚を融解し胚盤
胞培養で 4 CD（計 3 回目の）自然周期融解胚盤胞移植にて妊娠成立